

Medi-Way 医療通訳者紹介 Vol.14 ポルトガル語担当 石田さん

◆なぜ医療通訳者になった？

私の地元には、大きなコミュニティではありませんが、出稼ぎや結婚で来日されたブラジル人がおられます。私自身、ブラジルに住んでいた時は現地の人たちに助けられて生活をしていたので、帰国後、今度は自分が地元のブラジル人のお役に立てればと、医療関係・出入国管理行政・地方行政など、日本語の専門用語が多くコミュニケーションが困難な場面で、ボランティアとして付き添ってきたのが始まりでした。その後はいろいろなご縁に恵まれ、仕事としても通訳や翻訳を務めるようになり、専門の医療通訳者として現在に至っています。



◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは？

通訳業務は常にハプニングの連続です。医療現場では、いきなり難しい病名を告げられて落ち込んだり、逆に治療法が見つかって喜んだり…患者さんと笑いや涙を共有することで自分もいろいろな思いをしています。中でも、心が通じ信頼してもらえていると感じる時、例えば、最初は不機嫌で心を開いてくれない患者さんが、話していくうちに打ち解けてくれて通訳がスムーズに進むと、とても嬉しく思います。また、一生懸命に下調べをしていた細かい内容が現場で役に立ったときにもやりがいを感じます。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは？

実際の診療のケースを参考にしながら、ポルトガル語に通訳する練習をしたり、日常生活で気になるところがあると、ブラジルではどう話されているだろうかと調べたり、現地の友達や地元に住むブラジル人に聞いて情報交換をしています。医療サイトで調べれば、日本語に対するポルトガル語の専門用語は見つかるのですが、日本に住むブラジル人たちは専門用語を伝えても知らないことが多いので、理解できない用語は、噛み砕いて説明する準備を心掛けています。

今月のピックアップ

世界のお名前事情 Vol.1 - 外国のお名前、なぜ長い? -



世界のいろいろをお伝えするシリーズ、今回はお名前事情です。「ラテン系の方のお名前は長い」と、よく耳にします。どういう仕組みなのでしょう？通訳者に聞いてみました。

スペイン語：通常最初の2つが名前、後ろの2つが姓です。名+名+父の姓+母の姓、前の名前が4つの人もいます。女性が結婚すると名前の最後にさらに夫の父方の姓を付け足しますが、長すぎて戸籍上だけの名前といえますね。

ポルトガル語：同じく名前2つと姓2つですが、順番が名+名+母の姓+父の姓ですね。ただ名前が1つだけだったり自由度が高い印象です。基本的に女の子は結婚すると名+名+父の姓+夫の父の姓になります。

なるほど！そもそも「姓は2つ」という考えなんですね。お名前が長くなるはずですよ。ではアジアではいかがでしょう？

ベトナム語：ベトナム人の名前は姓+ミドルネーム+ファーストネームが一般的で、通常はファーストネームだけ名乗ります。結婚後も夫婦の姓は元のまま、子どもは父の姓を引き継ぎます。

中国語：夫婦が別姓で、子どもは父の姓を名乗るのはベトナムと一緒に。ただひとりっ子政策が終わって、1人目の子には父の姓、2人目の子には母の姓というケースもあるそうです。合理的(?) なのでしょう。

「お名前」一つでも国によって、また時代によっていろいろ流行もあるようです。次回も乞うご期待😊

ちょっと一言 それって何て言うの？

「何かアレルギーはありますか？」

英語「Do you have any allergies?」

中国語「您有什么过敏吗？」
(ニヨウ ショウマゲオミシマ?)

ベトナム語「Bạn có bị dị ứng với cái gì không?」
(ハソ コー ビ ジョウウ ヲイ カイジー コ?)

スペイン語「¿Tiene alguna alergia?」
(ティエネ アルグナ アルヒア?)

ポルトガル語「Você tem alguma alergia?」
(ウオセ テン アウグマ アルヒア?)



読者の皆さまへ

いつもお読みいただき、ありがとうございます。
只今、新しい企画を考えておりますが、皆さまからのご意見・ご感想、また通訳者へのご質問等いただけると大変うれしく思います。
これからも「Medi-Way 医療通訳だより」をどうぞよろしくお願いたします。

スタッフ一同 連絡先: tic@towaeng.co.jp

